

令和元年度第8回12月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 令和元年12月11日(水) 午前2時00分

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	河又弘子
	委員	古口 悟
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久
	パーソナリティー	赤崎加林

4. 議 題

(1) 「赤崎加林のとちぎふらふら」について

毎週水曜 10:40~10:55

8月28日、11月13日 放送 2回分

パーソナリティー 赤崎加林

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「赤崎加林のとちぎぷらぷら」について

毎週水曜 10:40～10:55

8月28日、11月13日 放送 2回分

パーソナリティー 赤崎加林

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：赤崎が番組の企画・制作内容について説明した。

平日午前中のワイド番組「栃木放送タギル」のコーナー。県外出身の赤崎が栃木県内をぷらぷらして、県外にまだ伝わっていない人や地域の魅力や思いを伝えることを大切にしている。実際に事前に関地に出かけることをモットーとして取材している。などと番組内容を説明して審議に入る。

各委員からは、

- まだ自分たちが知らない場所があることが分かった。訪れたことがない場所でも説明力があるのでイメージが湧いた。苦労している人がいることを伝えるのはメディアの仕事なのでもっと様々な人を取り上げてほしい。
- 場所をイメージさせるような説明は難しいが、わかりやすかった。まだ知らないところがあるのがわかった。様々な地域おこしを今後も紹介して欲しい。
- 現地をしっかりと訪ねるなど手間がかかっていて面白い。川の音など臨場感が伝わってきて良い。手間がかかるが頑張っていてほしい。宣伝のような部分もあったのが少し残念だ。人の物語をもっと紹介してほしい。
- 解説がわかりやすかった。川や滝など音の違いを表現するなど音響効果があるととても良い。思いを伝えたいという感じが伝わってきた。番組宣伝にも力を入れると良い。
- 話し下手の人からどのように話を引き出せるか、難しいが工夫して欲しい。男性パーソナリティーとの掛け合いに工夫があると良い。
- 放送時間について、ながら聞きにちょうど良い。番組のテンポも良く、他の日の放送も聴きたくなった。今後も続けて、様々な人や地域や物を掘り起こしてほしい。
- 現地で取材しているのが良い。場所や情景をわかりやすく表現できるように、ラジオの良さである効果音を多用してよいのではないかな。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(令和元年12月22日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(令和元年12月20日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(令和元年12月20日～)

以上